

東海第二発電所見学会を開催しました

参加者からのアンケート結果をお知らせします

市エネルギー対策課では、市内に建設計画が進められている『使用済燃料中間貯蔵施設』や原子力発電施設について、市民の皆様により詳しく知っていただくために、平成20年度青森県広報・安全等対策交付金を活用した事業として、『東海第二発電所見学会』を2回にわたり実施いたしました。

今年度は合計で69名の方にご参加いただきました。東海第二発電所（茨城県東海村）には、市内に建設予定の『使用済燃料中間貯蔵施設』を小型化したイメージの「乾式キャスク貯蔵施設」があり、施設内に保管されている乾式キャスクをご自身の目でご確認いただきましたが、参加者の皆様は様々な感想を持たれたようです。

ここでは、参加者の皆様にご協力いただいたアンケート調査の集計結果と、いただいたご意見について、広く市民の皆様にお知らせいたします。

◎ 見学会実施日と参加者数

見学会名	日 程	参 加 者 数	
第1回見学会	10月11日（土）～ 10月13日（月；祝）	46名	（むつ地区35名、川内地区5名、大畑地区4名、脇野沢地区2名）
第2回見学会	11月1日（土）～ 11月3日（月；祝）	23名	（むつ地区18名、大畑地区5名）
合 計		69名	（むつ地区53名、大畑地区9名、川内地区5名、脇野沢地区2名）

◎ 行程

【1日目】

市内各地区（むつ・大畑・川内・脇野沢）を出発 — 茨城県水戸市（2回目は福島県いわき市）（宿泊）

【2日目】

水戸市（いわき市）を出発 — 東海第二発電所 — 宮城県仙台市（宿泊）

—見学概要—

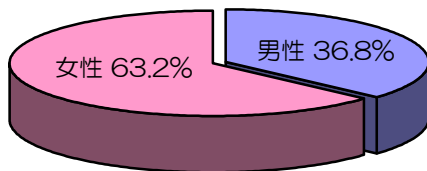
- ・ 原子力発電所施設概要説明
（日本原子力発電（株）PRセンター「東海テラパーク」）
- ・ 使用済燃料乾式キャスク貯蔵施設見学
- ・ 発電所構内各施設の外観見学

【3日目】

仙台市を出発 — 市内各地区（むつ・大畑・川内・脇野沢）で解散

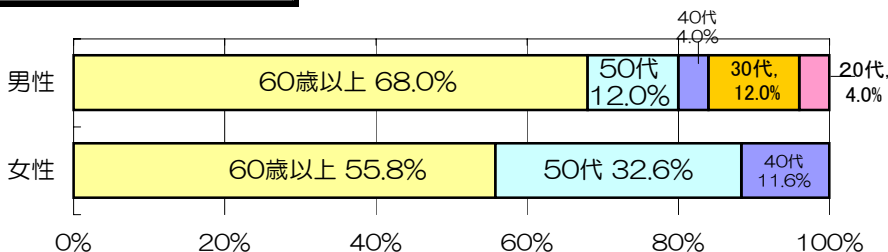
◆東海第二発電所見学会 アンケート結果（選択式部分）

Q1 あなたの性別は？



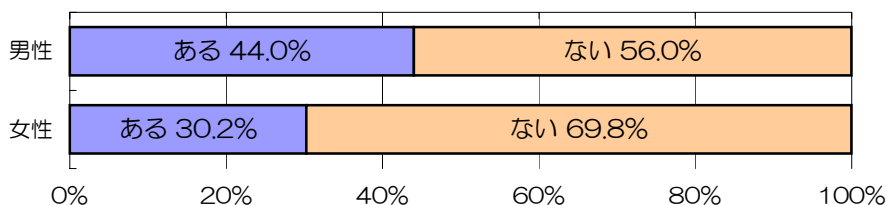
女性の方の参加が目立ちました。

Q2 あなたの年齢は？



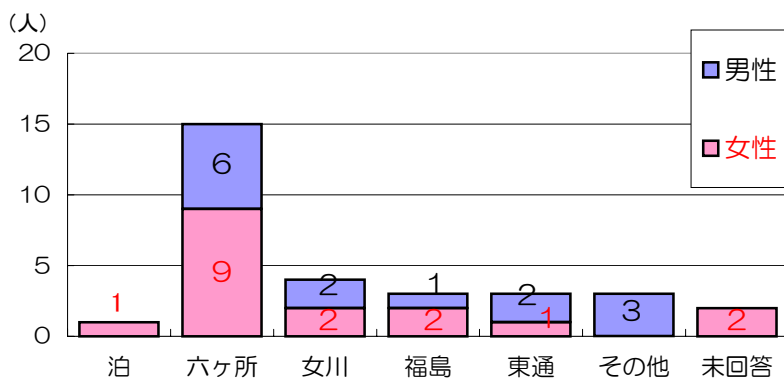
男女とも、60代の方に多数ご参加いただきました。また20～40代の方の参加も増えてきました。

Q3 原子力施設見学に行ったことは？



半数以上の方が、見学したことがないと回答しています。

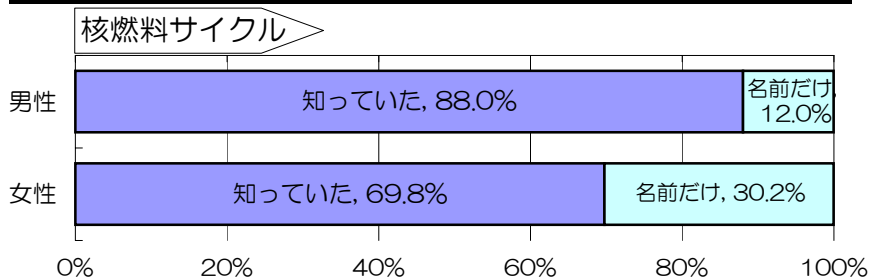
Q4（前問であると答えた方は）どこに見学にいきましたか？



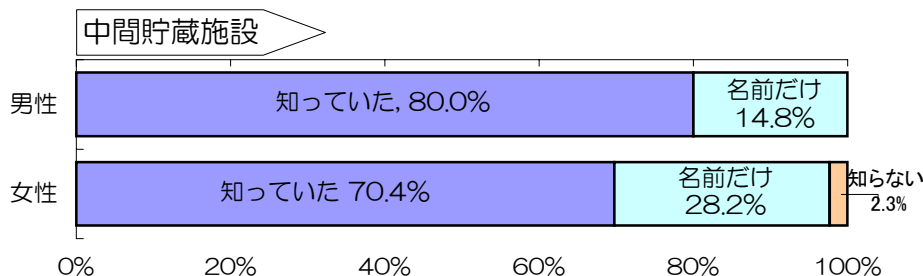
主な見学先
 ・泊原子力発電所（北海道）
 ・六ヶ所原子燃料サイクル施設
 ・女川原子力発電所（宮城県）
 ・福島第一、第二発電所（福島県）
 ・東通原子力発電所

その他には柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）などがありました。

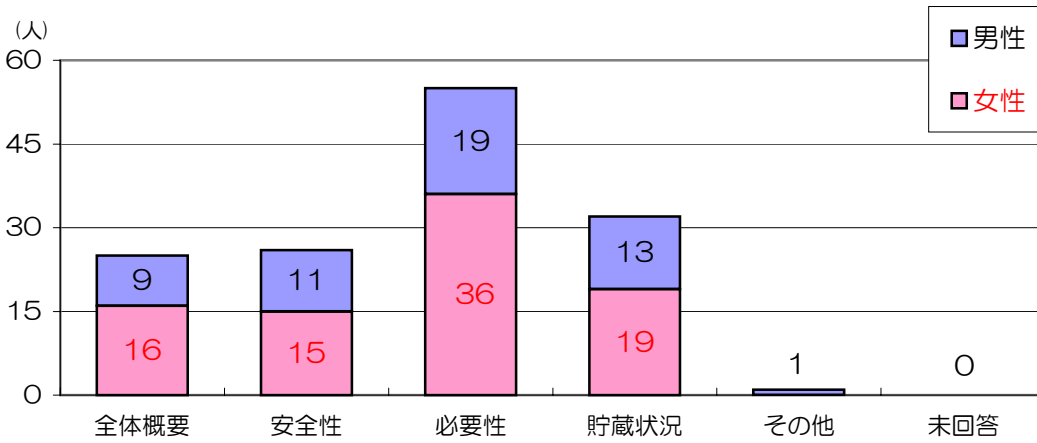
Q5 核燃料サイクルおよび中間貯蔵施設を知っていますか？



たくさんの方が、「核燃料サイクル」、「中間貯蔵施設」についてご存知でした。

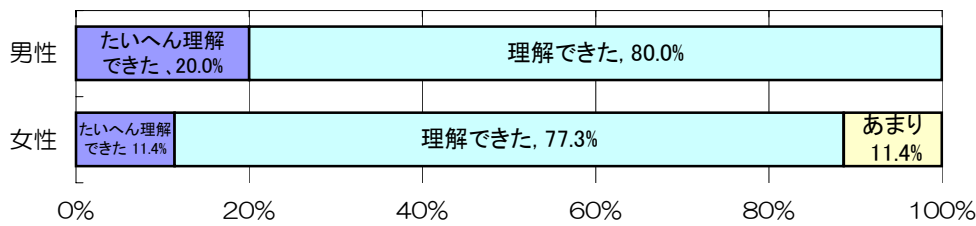


Q6 中間貯蔵施設について知りたかったことは？



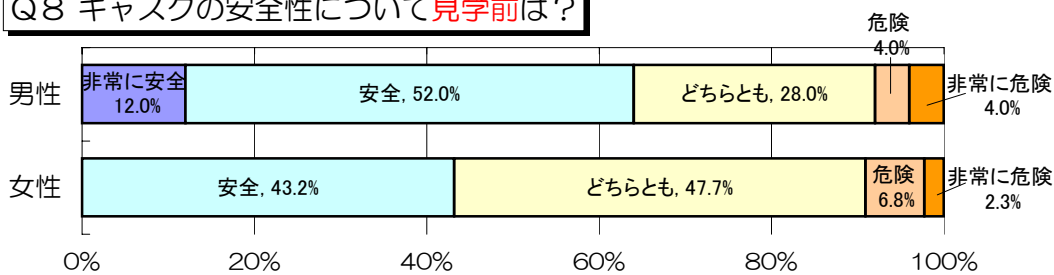
施設の必要性を知りたかった方が多いようでした。

Q7 知りたかったことは理解できましたか？



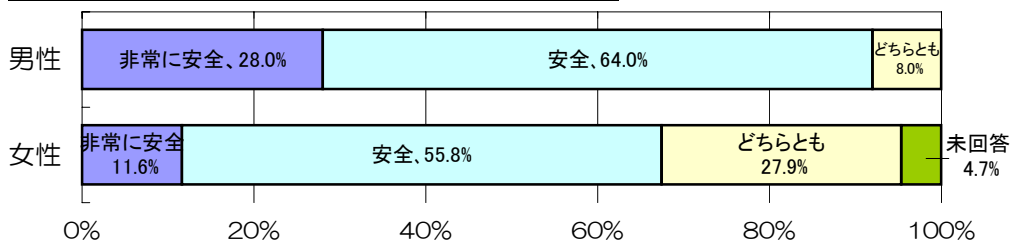
ほとんどの方が知りたいことが理解できたと答えています。難しかったと答えた方もいらっしゃいました。

Q8 キャスクの安全性について見学前は？



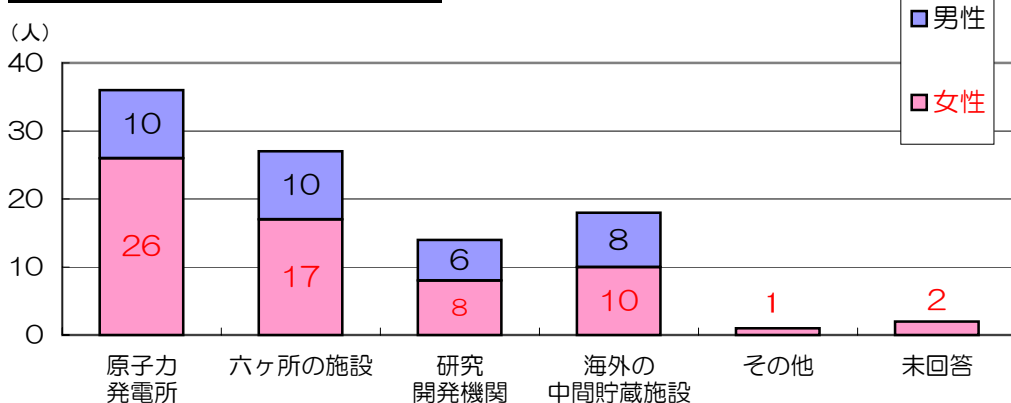
見学前は安全と答えた方とどちらとも言えないと答えた方が同じくらいでした。

Q9 見学後のキャスクの安全性については？



実際にキャスクを見学した後は安全と答えた方が増えました。

Q10 今後見学したい施設は？



原子力発電所や六ヶ所核燃料サイクル施設を見学したいとのご意見は男女とも多くありました。

◆ 東海第二発電所見学会 アンケート結果（記述部分）

Q11 今回の見学で知りたかったことが、理解できなかった理由は何ですか。

- ・ 難しく理解できない
- ・ 専門用語が難しく理解するのがむずかしい

Q12 「使用済燃料中間貯蔵施設」「核燃料サイクル」「原子力発電所」等原子力関連施設の理解を深めるうえで、知りたい情報や手に入れたいパンフレット等がございましたら、お知らせください。

- ・ 海外での中間貯蔵施設の取り組み方等の資料・説明が必要と思う

Q13 ご感想、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 原発及び再処理等の事業は資源小国日本にとって最も効率的なエネルギー確保のための手段であり必要不可欠なシステムであると考えております。原子力を利用したエネルギー確保はグローバルな観点からもその切札と言えるでしょう。今後益々のご躍進を期待しております。
- ・ 安全・安心の配慮がなされており、これからの燃料に必要不可欠と痛感しました。
- ・ 今回の見学会に参加して中間貯蔵施設の必要性がわかりました。
- ・ 事故の確率が0%ではないと思う。事故は有りうることで、その時の対応策などの様になっているのか、レベル1の場合、レベル2の場合、安全性だけではなく起きてしまった事故についても知りたかったです。
- ・ 日本の国はなんにもなくどんどんやってほしいと思います。
- ・ 今回の見学を見てみなさんがどれだけ気をつけ、みんなのためにがんばっていることがわかりました。
- ・ なんにも反対することはないのではないかと思います。
- ・ みなさんが思っていることは安全第一だと思います。
- ・ 今回のような見学会を今後も引き続き計画されることによって多くの方が理解できると思います。
- ・ 初めての原発見学会でどのような施設で安全性はどうか確認できた。これからも理解を深めるためにも何回も見学会を行ってほしい。
- ・ 今回の見学会に参加できて使用済燃料中間貯蔵施設を間近に見て良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・ 未来の子供達の為、原発の事故がないことを願うばかりです。
- ・ ウラン鉱石の長期的資源確保のため世界的に争奪戦が展開されていくのではないかと心配。国の施策がどうなっているのか心配。
- ・ 化石燃料と地球温暖化の因果関係から考えて、風力、水力、地熱、原子力発電へ今後多くに期待がなされるでしょう。
- ・ 豊かな生活を求めることにより消費電力は増加の道を迎るのではないのでしょうか。出力の大規模な原子力発電所が増設されるのは必須。科学立国として英知を継続して、国民のため安心安全に努力して欲しい。
- ・ キャスクの管理について、地中に保管し、再利用する場合も考えてと素人は夢見るが。
- ・ 役所の方、施設の方等の対応が非常によく感動しました。また機会があれば一緒にしたいと思いました。今回学んだことを今後何かの機会にいかしたいと思います。

- ・ 地域と融合しているのは良くわかりましたが、安全性に不安がありました。素晴らしい施設を見学することができありがとうございました。
- ・ 乾式キャスクがどのように保管されているか良く理解できました。むつの中間貯蔵施設が完成したらぜひまた見学してみたいです。
- ・ 関東大震災の2倍位の地震が起きても大丈夫なだけの設備をしているとの説明がありましたが、理解はしましたが見学後でもちょっと不安があります。
- ・ 使用済燃料乾式キャスクは本などで知っていましたが、今回間近で見ることができ不安がなくなりました。見学会に参加でき本当に良かったと思います。ありがとうございました。
- ・ 今回使用済燃料乾式キャスクを間近に見て、又、手で触ったりして非常に安全だと知り、これから私どもの近くに中間貯蔵施設ができる事について不安でしたけれど、今回の見学で非常に安全だと知り、不安もなくなったようです。安心して早くできることを楽しみにしています。また、できたら近くですので、一度見学したいと思っています。今度は原子力発電所も見てみたいと思っています。
- ・ この度はたいへん貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。エネルギー自給率4%の日本にとって原子力発電所はなくてはならない施設です。何より「安全」であることを願っています。
- ・ 資源を海外に頼っている日本は、常に安全安全安全を第一に考え将来のための原子力発電を研究・開発して頂き、安く安定した家庭燃料として供給してもらいたい。そのため、放射性廃棄物（放射能）の処分が今一番自分としては不安です。より一層の研究、そして努力をお願いします。
- ・ すべてが安全とは思いたくない。目に見えない物質なので、よりチェック機能の精密性が大事だと思う。いつ、どのようにして事故が発生するか危機管理の意識の徹底を職員一人一人が有すべきと思う。このことについて市として事業所に強く要望し実践を求めるべきと思う。地域住民の不安解消のためにも強く要望したい。全く安全であることはないから、次のことを望みたい。1. セキュリティの強化、1. 監視機能のレベルアップ、1. 事故発生時の連絡連携の強化
- ・ キャスクに直接さわれるとは思わなかった。
- ・ 最近の新聞等にて冷却材のナトリウム漏れ事項等など高速炉等など運転延期などトラブルなどがあり安全、安全とうたっているが、正直不安があるのはいつわらないところだが、今は実際に見学してみて、高度な技術を持って細心に細心に確認を復唱しながら、安全を期しての安全運転を目指していることがわかり得て大変勉強になった次第です。
- ・ 下北半島は原子力施設が多くある。その中心にあるむつ市役所の役割は相当高いと思われるので、これからの取り組みを期待します。
- ・ 私は、とてもこわい物と、でも必要な施設だとも思います。大事にいたらない事故であっても少し多いと思う。いくら小さな事故であっても、あってはならないと、不安な気持ちを持たせないようにお願いします。
- ・ ①海の水を入れ替えていることを見てびっくりした。あんなに使うとは思わなかった。 ②地震の安全性（新潟県等）
- ・ 今回の施設を見て、安全と思います。でも、今の日本は世界でも唯一の被ばく国のため反対をするのではないのでしょうか。ありがとうございました。
- ・ 六ヶ所のサイクル施設見学の時は色々な施設（建物）を見させていただきました。今回は厳重なセキュリティの中1つしか見られませんでした。あとは窓もほとんどない、箱のような建物を車中から見ただけでした。もう少し、他の施設も見たい。
- ・ 「使用済燃料乾式キャスク」を間近で見るところかさわる事が出来てびっくりです。（湯たんぼのようだった）近よるにも危険でないか心配でしたが、安全性を感じて帰ります。
- ・ R F S の必要性や安全性が確認できた。またこの見学会を通じてエネルギー資源の有限性や環境問題など多少学ぶことができました。普段何気なく使っている電気をもっと大切に使用しなければと考えさせられました。

- ・ 施設の安全性は納得しましたが、そこで働いている一人一人の安全に対する考えが、もっともっとしっかりしてくれることを期待しています。
- ・ 広島原爆のイメージでみんなが「原発」について危険と安全を交錯しています。いろいろなパターンで「安全」を考えるパンフを作成しないと、間違った反対意見に誘導されるのではないのでしょうか。「反対」意見に対して、先駆けて勉強指導をすれば良いと思います。まずは行動、見学を実践することが良いと思います。
- ・ 今回参加させていただいて、とても勉強になりました。これからもこのような見学会、学習会を実施していただき沢山のの方に安全性を理解していただけたらと思います。ありがとうございました。

ご意見ご感想はこの他にも頂きました。大変ありがとうございました



市エネルギー対策課では、今回の参加者アンケートの結果を参考にさせていただき、今後も原子力発電に関する理解を深めていただけるような各種イベントや見学会を企画して参りたいと考えております。

ご意見やご感想などがございましたら、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

むつ市企画部エネルギー対策課

TEL：22-1111（内線231）